

第6学年 算数科

「速さの表し方を考えよう」

① 授業の内容

時間と距離のどちらも異なる場合の速さの比べ方を、単位量あたりや公倍数の考えを用いて考えました。



③教材の工夫

数直線を活用することにより、数量関係を視覚的にとらえやすくなりました。そうすることで、数量の関係を正確にとらえることができるようになりました。

6学年 目指す児童像

様々な手法で自分の考えを深め、表現できる子



②場の工夫

自力解決や集団検討などさまざまな場を設定しました。そこで自分の考えを説明したり、友達の考えを自分の言葉に置き換えたりすることで、考えを深めることができました。



④成果

数直線を使うことにより、数量関係を視覚的にとらえやすくなり、円滑な立式ができるようになりました。そのことにより、問題への苦手意識もなくなり、児童の学習意欲も高まりました。